



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ビーイングホールディングス
代表者名 代表取締役社長 喜多 甚一
(コード：9145 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 松木 正康
(TEL. 076-268-1110)

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026 年 2 月 13 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結累計業績予想と実績値との差異 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

	営 業 収 益 (百 万 円)	営 業 利 益 (百 万 円)	経 常 利 益 (百 万 円)	親会社株主に 帰属する 中間純利益 (百 万 円)	1 株当たり 中間純利益 (円 銭)
前 回 発 表 予 想 (A)	17,800	1,020	1,000	590	24 円 48 銭
今 回 実 績 (B)	17,502	986	971	545	22 円 62 銭
増 減 額 (B - A)	△297	△33	△28	△44	—
増 減 率 (%)	△1.6	△3.2	△2.8	△7.5	—
(ご参考) 前期連結実績 (2025 年 12 月期中間期)	15,820	1,169	1,190	714	29 円 63 銭 ※

※2025 年 10 月 1 日付の株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

2. 差異の理由

2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）累計期間（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）においては、前期に開設した拠点の通期稼働や既存業務の拡大に加え、生活物資の取扱量の増加および商品単価の上昇により、営業収益は堅調に推移いたしました。

一方で、各段階利益につきましては、東海 SCM センターの収益改善活動に伴う一時的なコストの発生や、賃上げおよび協力会社の料金見直し等による物流原価の増加によって、前年同期を下回りました。

なお、現時点におきましては、2026 年 2 月 13 日に公表した業績予想に変更はございません。今後、修正が必要と判断した場合には、速やかに公表をいたします。

以 上